

「つちだの独り言」

JR 東日本戦、熱闘 11 回ホームランに好投大久保投手泣く 延長 10 回のチャンスに打てず勝利を逃す

第二代表決定戦二回戦は古豪 JR 東日本戦 4 回まで 4 対 0 とリードされ苦しい試合展開。新人石毛投手 3 回まで力投するも 4 回 3 安打で先取点献上、5 回二死後内野安打盗塁、ライト前ヒットでピンチに 2 番バッターにライト越し 3 ランを浴び 4 対

0。 明治安田は 5 回 2 死後 9 番永廣のショート強襲安打 1 番福岡センター前ヒットと相手投手暴投で 1 点獲得。6 回 2 死走者なしから連続 3 四球の満塁から **9 番永廣のライト越し二塁打で走者一掃の同点打**

6 回から大久保投手が継投。7 回～10 回まで好投するも、その間打線の援護無く 11 回先頭打者にライト越しに決勝ホームランを浴びる。

明治安田は 9 回裏 2 死走者なしから 1 番福岡が 2 塁打 2 番金子がレフト前ヒットで 2 死 3 塁 1 塁のサヨナラのチャンスに 3 番凡打サヨナラ勝利を逃す。10 回 1 死 2 塁・1 塁のチャンスも後続凡打でまたも勝利を逃す。

JR 東日本の飽くなき勝利に対する執念に根気負けした。

4 投手投入し 2 本のホームランで JR 東日本は勝利を奪い取った。

明治安田は再三のチャンスに中軸が打てず勝利を逃した。

JR 東日本戦のスコアは野球部発信の明和会ホームページ掲載を参照願います。

9 月 29 日の鷲宮製作所と第四代表決定戦準決勝に望みをかける次第

(選手名敬称省略)

2021 年 9 月 28 日

土田唯雄